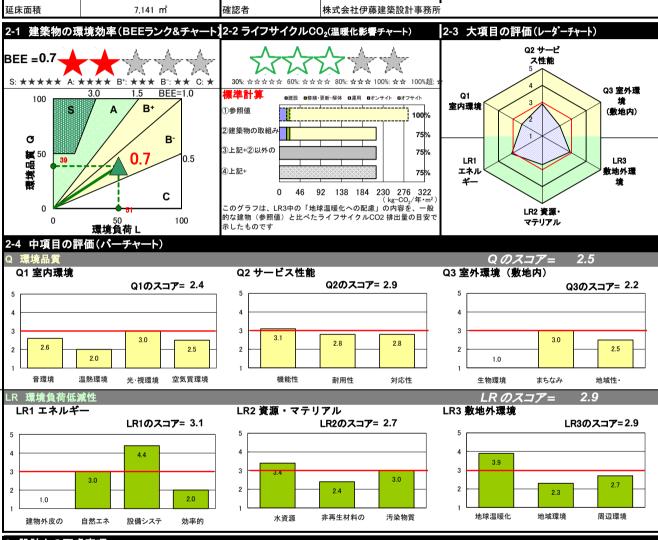


1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	ベイシア三浦店	階数	地上2階、地下1階	
建設地	神奈川県三浦市初声町下宮田字長作5番2外1筆の各一部	構造	S造	
用途地域	第1種住居地域、22条地域	平均居住人員	50 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)	
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価	外観パース等
竣工年	2019年4月 予定	評価の実施日	2018年8月9日	図を貼り付けるときは
敷地面積	12,833 m²	作成者	株式会社伊藤建築設計事務所	シートの保護を解除してください
建築面積	5,381 m ²	確認日	2019年8月10日	
延床面積	7,141 m ²	確認者	株式会社伊藤建築設計事務所	



8 合	その他	
ト壁は断熱性を考慮し、ALCパネルを採用した。		
01 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
「ックヤードの居室には通風、採光を考慮し、開閉式の	床は滑りにくい素材を採用し、安全性に考慮した。	敷地内には積極的に植栽を配置し、地盤面への日射遮蔽
gを設けた。		に配慮した。
.R1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
ト壁にはALCパネルを用いることで建物の断熱性を考慮	便所の大便器は節水型の便器を採用し、節水に取り組ん	建物は日影が落ちる北側隣地からは十分な離隔をとり、
ノ、空調エネルギーを削減する計画とした。	だ。	敷地外への日影の影響を最小限に抑えた。

- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される